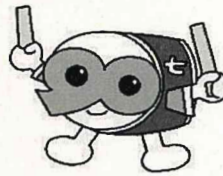


校長室だより



第2号

令和2年4月20日

校長 齋藤 瑞穂

こんなときこそ、じっくり本を読もう！

休校も3週間目となり、元気な杉七小のみなさんは、外で友達と遊びたくてウズウズしていることでしょう。気持ちはみんな同じです。また校庭で思いきり遊べる日を楽しみに、もう少し、がまんしてください。

さて、家の中でじっとしていなければいけないとき、読書はぴったりです。

小さいころ、私はたいへんおてんばでした。走るのも好きでし、鉄棒やキャッチボールは手にまめができるほど熱中して取り組んだものです。ところが、2年生の冬、おてんばがたたり、スキーで足の骨を折ってしまったのです。

ケガをして最初の1週間は、入院しなければなりません。ベッドで横になって、じっとしているのです。痛みがあったうちはまだしも、それもなくなってからは、退屈で退屈で、一日が長いこと！そんなとき、お見舞いと、友達や先生からたくさん本が届きました。

日本の歴史、シートン動物記、棕鳩十全集、日本の伝記・世界の伝記、シャーロック・ホームズの冒険…2年生にとっては少し難しい本もありましたが、読み始めると、どんどん本の世界に引き込まれていきました。おもしろくて、先が知りたくて、わからない言葉があると辞書を引くということを経験したのも、このときです。

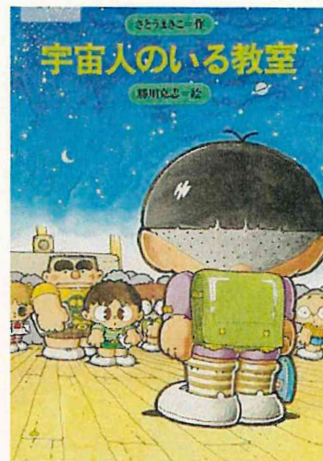
それ以来、私は読書が大好きになりました。

杉七小の子供は、もともと本が好きな子が多いですから、この休校期間中、もうたくさん本を読んでいるかもしれませんね。本は苦手という子も、この機会に、じっくり本と向き合ってみてはどうですか？想像力をふくらませ、本の世界を旅してみたら、新たな自分を発見できるかもしれませんよ。

おすすめの本

宇宙人のいる教室 作：さとうまきこ

おかしな転校生、レオナ。言葉遣いも服装も、



やることなすこと、何かズれているのです。クラスのボス集団からは、さっそくからかいの対象にされてしまうのですが、当のレオナときたら、からかわれていることにも気づかない始末。

「ぼく」は、そんなレオナにあきれて、知らんぷりしていましたが、あることを目撃したのをきっかけに、「レオナは宇宙人なのでは？」という疑いをもつようになり…

私が先生になった年、先輩の先生に教えていただいた本です。初めて担任した4年生に読み聞かせしました。とても読みやすい文章で、すぐに読めてしまいますが、読んだ後、いろいろ考えさせられるお話です。

3年生以上なら一人で充分読めます。

1, 2年生は、お家の方といっしょに読んでみてください。

保護者の皆様

休校も3週間目に入り、子供たちの元気がなくなっているか心配です。こんな状況ではありますが、子供たちには学校再開を楽しみに、前向きな気持ちで過ごすことができるよう、杉七小は課題や通信の内容を様々な工夫していきます。楽しいアイデアがございましたら、ぜひお寄せください。